

学びを支える学級 リーダーを支える学級



成長・貢献・感謝

羽地中学校
学校だより 63 号
R1. 7. 5

運動会が終わり、羽地中は研究授業を矢継ぎ早に実施しました。6月26日(水)に県教育委員会の学校訪問事業で数学と英語の教科訪問、6月28日(金)は校内研修 授業研究会として、学年ごとの授業と研究討議を実施しました。県の教科訪問では、2年2組さんとK先生で数学、2年3組さんとS先生・K先生による英語の授業でした。

振り返りでは、生徒の主體的な学びを促すため、「ねらい」や「目標」の設定の在り方を見直すこと、話すことと書くことのバランスを確保すること、見方・考え方を見守る時間を確保するなど、多くの示唆を与えてくれる授業改善への助言がありました。

2年2組さんの数学を参観すると、グループごとに互いに教え合う活動場面が多くあり、支持的風土のある教科経営が垣間見れました。2組さんは男女の仲が良く、学びを支える人が多くいる学級です。これからの社会は、チームでアイデアを出し合って課題解決していく社会です。学びに向かう集団が教師と生徒によって創られていく授業でした。

ご助言いただきました義務教育課学力向上推進室のY・T指導主事、M・Y指導主事、ありがとうございます。



学年ごとの公開授業では、1年3組さんとS先生が国語「空中ブランコ乗りのキキ」の授業。2年1組さんとT先生が社会「島原・天草一揆に表れた外国船のなぞ」の授業。3年1組さんはM先生と学活「3年1組の学級文化の創造」でした。

3年1組さんの学級活動では、運動会を振り返って、演技リーダーの頑張りや葛藤、リーダーに協力し、支えてきたサブリーダー達の思いを綴っていました。

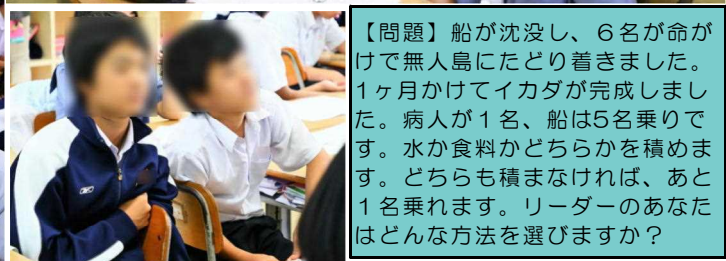
リーダーの導き方で集団の方向性が変わっていくのは歴史から明

らかです。そして、集団にはリーダーとリーダーを支えるメンバーが必要です。

グループの話し合いでは、無人島からの脱出・集団はどの方法を選ぶのか?その理由は?の問題解決型学習を通して、リーダーはなぜ必要なのか?リーダーの条件とは何か?をテーマに話し合っていました。

また、話し合ったことをホワイトボードに表し、3年1組全体で共有していきました。

リーダーはリーダーを支える人達によってリーダーになる。皆で協力しあうこと、助けることがリーダーを支えることなのだ。と、1組さんは気づきました。これからの3年1組さんの学級の成長に期待したい。



【問題】船が沈没し、6名が命がけで無人島にたどり着きました。1ヶ月かけてイカダが完成しました。病人が1名、船は5名乗ります。水か食料かどちらかを積みます。どちらも積みなければ、あと1名乗れます。リーダーのあなたはどんな方法を選びますか?